

隣保館の耐震診断結果（西脇市）

■ 耐震診断結果一覧表

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	地震に対する安全性の評価の結果 ※1	耐震改修等の予定 ※2	
						内容	実施時期
①	大野隣保館	西脇市大野176	集会場	第2次診断法	$I_s = 1.33$ $q = 4.90$	—	
②	芳田の里ふれあい館	西脇市岡崎町172-28	集会場	第2次診断法	$I_s = 0.95$ $q = 1.33$	—	
③	隣保館上野会館	西脇市上野243	集会場	第2次診断法	$I_s = 0.55$ $q = 2.07$	耐震補強工事	要検討
④	黒田庄隣保館	西脇市黒田庄町前坂294-1	集会場	第2次診断法	$I_s = 0.32$ $q = 1.51$	耐震補強工事	要検討

※1 大規模の地震（震度6強から震度7程度）に対する安全性を示している。今回の耐震診断の結果、いずれの建築物も中規模の地震（震度5強程度）に対しては安全であると確認された。

※2 評価結果が下表中の③に該当する場合には、耐震改修等の必要がないことから「—」を、①または②に該当する場合は、耐震改修等を検討する必要があるためその内容及び実施時期を記載しているが、改修等の実施時期については、今後検討を行います。

■  $I_s$ 値及び $q$ 値に応じた安全性の目安（国土交通省告示第184号別表第6より）

No.	$I_s$ 値及び $q$ 値	評価結果
①	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊、または破壊する危険性が高い。
②	$0.3 \leq I_s < 0.6$ 又は $0.5 \leq q < 1.0$	大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊、または破壊する危険性がある。
③	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$	大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊、または破壊する危険性が低い。『耐震改修等不要』※3

※3 今回の耐震診断では、より安全性に配慮し「 $0.75 \leq I_s$ 」かつ「 $1.25 \leq q$ 」をもって『耐震改修等不要』としている。

■ 用語の意味

第2次診断法	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」（2001年版）に定められる、耐震補強内容を検討し、設計を行うための詳細な診断方法。
$I_s$ 値	建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される構造耐震指標で、その最小値を表記しており、値が大きいほど耐震性が高いことを示している。
$q$ 値	建物が水平方向の力に耐えられる力の指標で、その最小値を示しており、値が大きいほど耐震性が高いことを示している。
大規模の地震	震度6強から震度7に達する程度の地震をいう。
中規模の地震	震度5強程度の地震をいう。